

文部科学省におけるがん対策について

平成20年度予算額:203億円(平成19年度予算額:202億円)

戦略目標:我が国の死亡原因の第一位であるがんについて、研究、予防及び医療を総合的に推進することにより、
がんの罹患率と死亡率の激減を目指す。

がんの本態解明

・科学研究費補助金 (特定領域研究5領域)

学横断的な発想と先端科学技術の導入に基づくがんの本態解明の飛躍的
推進 (H20予算額:45億円)

トランスレーショナル・リサーチ

・革新的ながん治療法等の開発に向けた 研究の推進

基礎研究の成果を積極的に予防・診断・
治療等へ応用するトランスレーショナル・
リサーチの推進 (H20予算額:6億円)

・橋渡し研究支援推進プログラム

有望な基礎研究の成果を創薬に繋げ
る等、イノベーションを創出するための
橋渡し研究を支援する拠点を整備
(H20予算額:18億円)

革新的ながん診断・治療法

・分子イメージング研究プログラム 創薬プロセスの改革、疾患の診断技術等 の開発を推進 (H20予算額:12億円)

・重粒子線がん治療研究等(放医研) 「重粒子線がん治療法」等の開発を 推進 (H20予算額:74億円)

・粒子線がん治療に係る人材育成プログラム 専門知識等を有する人材をオン・ザ・ジョ ブ・トレーニング等で育成(H20予算:0.8 億円)

・国立大学法人運営費交付金等の確保 大学におけるがん治療研究等を推進 (H20予算額:28億円) 等

大学におけるがんに関する教育・診療

がんプロフェSSIONAL養成プラン

がん医療の担い手となるがん専門医師及び
がんに関与した医療人の養成を行うための
大学の取組みを支援 (H20予算額:19億円)

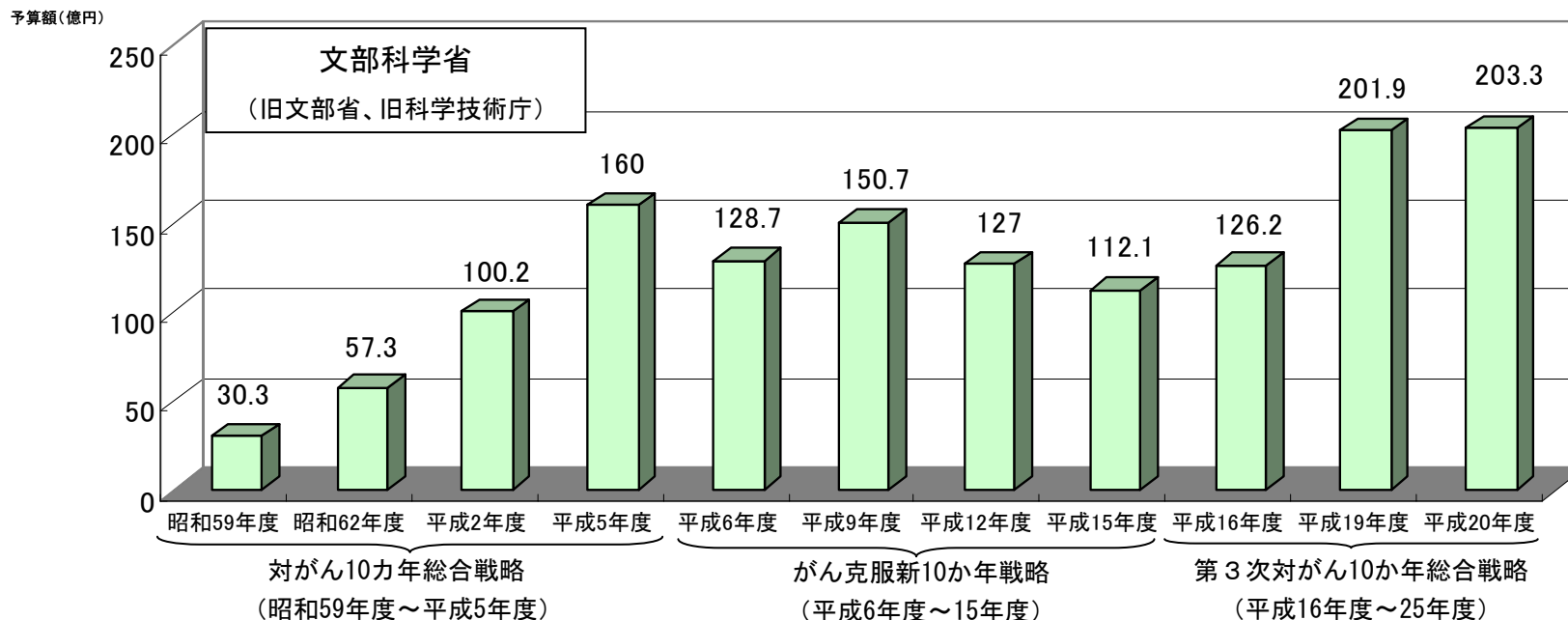
医学部教育における取組

「医学教育モデル・コア・カリキュラム」
に基づくがんに関する教育の実施

大学病院における取組

がんセンター等の横断的ながん治療等を行
う診療組織の設置等による診療の充実

①対がん戦略に係る予算額の推移について(文部科学省分)



②平成20年度予算額について(文部科学省分)

単位:億円

| 項目名 | 平成19年度予算額 | 平成20年度予算額 | 増△減額 |
|---|--------------|--------------|------------|
| 科学研究費補助金(特定領域研究5領域) | 45.0 | 45.0 | 0 |
| 革新的ながん治療法の開発に向けた研究の推進(がんトランスレーショナル・リサーチの推進) | 6.8 | 6.0 | △0.8 |
| 橋渡し研究支援推進プログラム | 15.0 | 17.5 | 2.5 |
| 分子イメージング研究プログラム | 13.6 | 12.0 | △1.6 |
| 粒子線がん治療に係る人材育成プログラム | 0.4 | 0.8 | 0.4 |
| がんプロフェッショナル養成プラン | 14.0 | 19.0 | 5.0 |
| 重粒子線がん治療装置運営費、分子イメージング研究等(放射線医学総合研究所) | 72.4 | 74.3 | 1.9 |
| 国立大学法人運営費交付金等の確保 | 34.2 | 28.1 | △6.1 |
| その他独立行政法人におけるがん治療研究の推進 | 0.6 | 0.6 | 0 |
| 合計 | 201.9 | 203.3 | 1.4 |

がんプロフェッショナル養成プラン

(参考)

がん(腫瘍)に関わる人材養成・研究推進と大学院教育の充実化

(前年度予算額 14億円)
平成20年度予算額 19億円

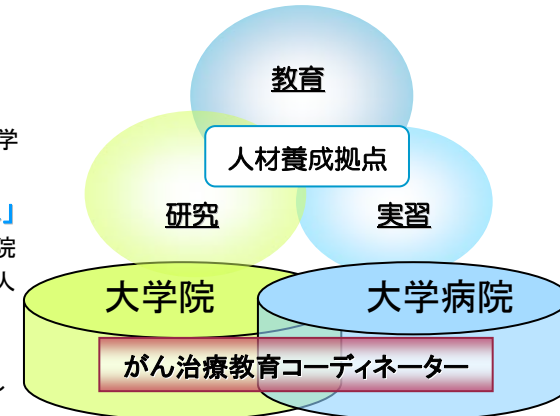
がん対策基本法

専門的な知識及び技能を有する医師 その他の医療従事者の養成

第14条 国及び地方公共団体は、手術、放射線療法、化学療法その他のがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の養成を図るために必要な施策を講ずるものとする。

優れたがん専門家を養成するための 横断的な教育プログラムの構築と実施 実地修練を支援する体制の整備

- ◆ 医師のための「腫瘍専門医師養成コース」
高い臨床能力と研究能力を併せ持った臨床医を養成するために、大学院において、学位の取得とともに腫瘍専門医師の養成を目指す。
- ◆ コメディカルのための「がん医療に携わる職業人養成コース」
看護師、薬剤師、放射線技師等の基礎資格を有する者に対し、大学院において、学位の取得とともにがんチーム医療に貢献できる高度職業人の養成を目指す。
- ◆ 医師のための「がん専門インテンシブコース」
各診療科の基盤学会の認定医又は専門医を取得した医師を対象としがんの診断・治療・研究に必要な高度先進的な知識と技術の習得した専門家をを目指す。



がん対策推進基本計画

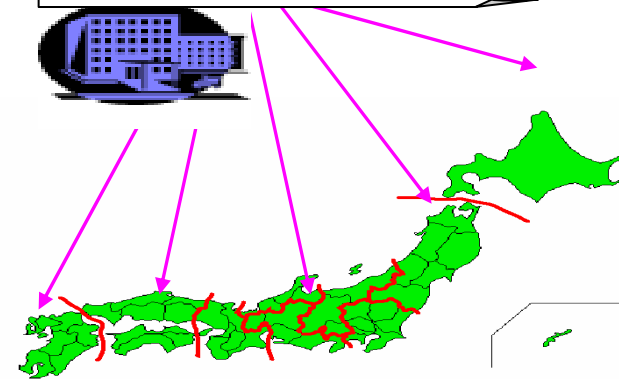
重点的に取り組むべき課題

- (1) 放射線療法及び化学療法の推進並びにこれら専門的に行う医師等の育成
- (2) 治療の初期段階からの緩和ケアの実施
- (3) がん登録の推進

教育プログラムのさらなる充実 実施体制の整備・強化

- ◆ 全医師等へ緩和ケアを含む教育の実施(緩和ケアコースの設定等)
- ◆ がん医療に関する教育研究体制の充実(がん医療に特化した教育研究組織の整備等)
- ◆ 大学間の連携強化(サブコーディネータの配置等)

がん医療を担う教育研究拠点形成



より質の高いがん医療の「均てん化」等により、全国どこでも最適な癌医療が受けられ、がんの治癒率が向上するとともに、がん患者の生活の質(QOL)₃が向上する社会を目指す。

「がんプロフェッショナル養成プラン」事業一覧

| 申請担当大学 | 共同大学 | 取組名 |
|----------|--|---|
| 札幌医科大学 | 北海道大学 旭川医科大学 北海道医療大学 | 北海道の総合力を生かすプロ養成プログラム ～大学、地域、病院の連携を生かしたがん専門医療人の育成を目指して |
| 東北大学 | 山形大学 福島県立医科大学 | 東北がんプロフェッショナル養成プラン |
| 秋田大学 | 岩手医科大学 岩手県立大学 弘前大学 | 北東北における総合的がん専門医療人の養成 [サブタイトル]がん多発地域におけるがん医療均てん化のための全人的がんプロフェッショナル育成システムの構築 |
| 自治医科大学 | 国際医療福祉大学 | 全人的ながん医療の実践者養成 |
| 群馬大学 | 獨協医科大学 県立県民健康科学大学 | 北関東域連携がん先進医療人材育成プラン －重粒子線照射装置を中心とした集学的がん治療法の確立・普及を目指して－ |
| 千葉大学 | 筑波大学 埼玉医科大学 | 関東広域多職種がん専門家チーム養成拠点 |
| 東京大学 | 横浜市立大学 東邦大学 日本大学 | 横断的ながん医療の人材育成と均てん化推進 |
| 東京医科歯科大学 | 東京工業大学 日本医科大学 | がん治療高度専門家養成プログラム |
| 北里大学 | 慶應義塾大学 (※共立薬科大学) 聖マリアンナ医科大学 東海大学 山梨大学 首都大学東京 聖路加看護大学 信州大学 東京歯科大学 | 南関東圏における先端的がん専門家の育成 －患者中心のチーム医療を牽引する人材養成の拠点づくり－ |
| 順天堂大学 | 明治薬科大学 東京理科大学 立教大学 新潟大学 | 実践的・横断的がん生涯教育センターの創設 |
| 金沢大学 | 富山大学 福井大学 金沢医科大学 石川県立看護大学 | 北陸がんプロフェッショナル養成プログラム －ICTによる融合型教育システム及び「がんプロネット」の構築－ |
| 名古屋大学 | 浜松医科大学 名城大学 岐阜大学 岐阜薬科大学 藤田保健衛生大学 | 臓器横断的がん診療を担う人材養成プラン 副題: グローバルスタンダードにかなうメディカルオンコロジーチームの育成 |
| 京都大学 | 三重大学 滋賀医科大学 大阪医科大学 | 高度がん医療を先導する人材養成拠点の形成 |
| 大阪大学 | 和歌山県立医科大学 奈良県立医科大学 京都府立医科大学 兵庫県立大学 | チーム医療を推進するがん専門医療者の育成 －集学的治療から在宅医療そして緩和ケアまで－ |
| 近畿大学 | 大阪市立大学 神戸大学 兵庫医科大学 大阪府立大学 神戸市看護大学 | 6大学連携オンコロジーチーム養成プラン －近畿圏のがん医療水準の向上と均てん化を目指した国公立大連携プロジェクト－ |
| 鳥取大学 | 広島大学 鳥根大学 | 銀の道で結ぶがん医療人養成コンソーシアム (中国地方中山間地のがん医療均てん化を目指す) |
| 岡山大学 | 愛媛大学 香川大学 川崎医科大学 高知大学 高知女子大学 徳島大学 山口大学 | 中国・四国広域がんプロ養成プログラム －チーム医療を担うがん専門医療人の育成－ |
| 九州大学 | 久留米大学 産業医科大学 福岡大学 福岡県立大学 佐賀大学 長崎大学 熊本大学 九州看護福祉大学 大分大学 宮崎大学 鹿児島大学 琉球大学 | 九州がんプロフェッショナル養成プラン |

※共立薬科大学は平成20年度より慶應義塾大学と統合。

計 18 件(90大学)